

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月6日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害とされる**カレニア・ミキモトイ**が最高で**2,840 cell/mL**、シャットネラ属が最高で3 cells/mL、**コクロディニウム・ポリクリコイデス**が最高で**15 cells/mL**確認されました。**麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータム**が最高で**175 cells/mL**確認されました。**カレニア・ミキモトイ**は漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（1,000 cells/mL）を、**ギムノディニウム・カテナータム**は二枚貝の毒化が懸念される警戒基準値（1 cell/mL）をそれぞれ大きく上回っていますので、十分注意してください。また、**コクロディニウム・ポリクリコイデス**は注意基準値（10 cells/mL）を超えており、今後、漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（100 cells/mL）に達する恐れがありますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ギムノディニウム・ カテナータム
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A ガラク (5.1m) 【10:31】	0	25.1	30.0	7.4	0	0	0	0
	2	25.1	31.6	7.4	15	0	4	4
	5	24.9	32.5	7.2	105	0	12	70
	10	24.7	33.2	6.5	31	0	0	27
	底層 15	24.5	33.5	6.4	-	-	-	-
B 勢井 (4.8m) 【10:42】	0	25.3	29.5	7.2	4	1	8	0
	2	25.1	30.6	7.0	2	0	0	20
	5	25.1	31.7	6.4	12	0	0	90
	10	24.7	33.0	5.3	4	0	0	0
	底層 18	23.9	33.9	6.0	-	-	-	-
C 馬の背 (3.9m) 【10:49】	0	25.3	29.5	7.2	3	2	8	5
	2	25.1	31.1	7.1	18	2	15	107
	5	25.0	31.9	6.8	301	0	2	116
	10	24.7	33.1	5.6	10	0	0	8
	底層 21.5	23.9	33.9	6.1	-	-	-	-
D 大室戸 (4.9m) 【10:12】	0	25.1	29.8	6.7	5	2	0	0
	2	25.1	30.1	6.6	0	2	0	0
	5	25.0	31.9	6.1	4	1	0	28
	10	24.8	33.0	5.9	3	0	0	0
	底層 20.5	24.1	33.8	6.1	-	-	-	-
E 白浜 (3.2m) 【10:21】	0	25.1	29.7	7.3	1	0	0	0
	2	25.1	31.2	7.2	35	1	0	0
	3	25.1	31.8	7.3	1,720	1	12	87
	5	25.0	32.2	6.6	2,840	0	0	155
	10	24.7	33.1	5.9	4	0	0	0
	底層 18	24.3	33.7	5.9	-	-	-	-
F 大谷漁港内 (4.1m) 【11:10】	0	25.2	29.3	7.0	0	0	0	3
	2	25.2	30.4	7.1	0	3	0	0
	5	25.1	31.8	6.3	69	1	0	77
	底層 9.5	24.8	32.9	5.8	-	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ギムノディニウム・ カテナータム
	(m)	(℃)		(mg/L)				
G 湾奥ブイ (4m) 【10:00】	0	25.3	28.9	7.5	0	0	14	9
	2	25.1	30.6	7.7	5	2	12	5
	5	25.1	31.8	7.2	220	1	4	175
	10	24.8	32.9	6.0	6	0	0	0
	底層 16.5	24.4	33.6	5.2	-	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※ 3
				野見湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	6～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	2～4月
ギムノディニウム・カテナータム	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—

※ 1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※ 2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※ 3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

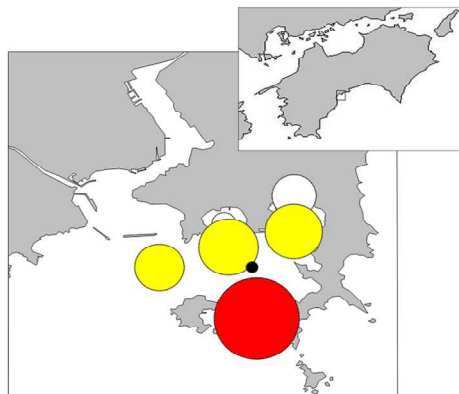
E: 白浜

F: 大谷漁港内

G: 湾奥ブイ

カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



ギムノディニウム・カテナータム

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

